

# 市民クラブ 通信

発行 市民クラブ 発行責任者 林 隆文 千葉県八千代市八千代台北1-5-2

## 八千代市議会 活動レポート 2021年 3月号



### 「持続可能な市政運営へ」



**会派代表 林 隆文**  
総務常任委員会 委員長

二度目の緊急事態宣言の延長により、徐々にコロナウィルスの感染者が減ってきてはいますが、まだまだ先の見えない状況が続いております。一刻も早くコロナ禍が収束するよう願うばかりです。そのような状況の中で今年は、千葉県知事選挙、八千代市長選挙、衆議院議員選挙が行われます。その中でも我々にとって一番身近なのは、八千代市のトップを決める市長選挙であります。現職の服部市長には、国・県・市のパイプをしっかりと活かしながら、八千代市政発展のため尽力していただきたいと思います。我々と致しましても精一杯支援して参る所存です。私と致しましては、今後八千代市が発展していく為の施策として、観光施策の推進、公共施設の再編、市役所庁舎の建替え、八千代台駅周辺の再編等を中心に推進して参りたいと思います。今後とも皆様の忌憚なきご意見賜りますようお願い申し上げます。



**小澤 宏司** 文教経済常任委員会 委員長

昨年は八千代市議会の副議長という役を仰せつかりました。議長とともに政務調査費の半年分の返納を多くの会派に協力していただきコロナ対策費として使用して頂けるよう行政に要請しました。議会としても様々な対策について速やかに、また取りこぼしの無いよう皆様の声を届けてきました。コロナ禍という特殊な状況下の中、議員として何をすべきか。考えさせられる一年となりました。令和3年を迎え、文教経済常任委員会を志願し、この街の商工業の救済、発展、子どもたちの教育や学びの機会をしっかりと確実なものにする為、様々な可能性を追求します。



**西村 幸吉** 四市複合事務組合議会 副議長 / 福祉常任委員会

新型コロナウイルスのパンデミックで世界中が翻弄され、未だ終息が見えぬままです。延期された東京オリンピック・パラリンピックが果たして開催されるのでしょうか？八千代市は第五次総合計画の前期基本計画の策定中です。少子高齢化や人口減少の中で持続可能な社会をどの様に形成していったらいいのか地方創生の観点からも熟慮された計画が期待されます。「住んで良かった住み続けたい八千代」をつくるために市民参画にてパブリックコメントを通じて多くの市民の方々のご意見をお聞かせください。市庁舎建設もコロナ

にて延期になっています。首都直下地震等災害はいつ来るかわかりません。常に備えが必要です。市役所は防災対策本部としての役割をしっかりと果たして大切な市民の命と財産を守ることになります。早い整備が願われます。今やるべきことを見極めて政策形成していきます。



**嵐 芳隆** 八千代市監査委員 / 都市常任委員会

市議会議員として4期目も残すところ2年となりました。このたび臨時議会において市の監査委員に選任をされました。議会とはまた別の角度で市政に対し意見を述べていく機会を得ることができ、また市政のチェック機能として重要な立場であると自覚しております。コロナ禍において各事業やイベントが中止になる中でも私たちは感染対策をしっかりとした中できることをやっていくしかありません。震災はじめ災害に対して常に公僕として何が出来るかを念頭に活動してまいります。市民の皆様の声を聞く機会も減ったように感じております。そんな中、私たち市民クラブは、やってるフリでなくパフォーマンスでなく心底市民の皆様のために何が出来るかを考えて市政報告、議会報告を今後企画していく予定でございます。これからも私たちの活動に皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。情熱と責任感と決断力を持って！



**澤田 新一**  
議会運営委員会 副委員長 / 文教経済常任委員会 / 都市計画審議会委員

本市は昨年20万人都市となりましたが、「八千代市人口ビジョン」の予測によると令和7年度をピークに人口減少に転じるとされており、少子高齢化や人口減少の問題は避けて通れない喫緊の重要課題です。この状況を改善させるためには「魅力ある・賑わいのある街づくり」を具現化する施策が必要であると考えます。「京成線沿線の活性化」や「駅周辺の再開発」等々による、Uターン者や若い世代の人口流入を促進するための施策として「定住・移住支援制度」や「三世同居・近居・隣居支援制度」等の創設を目指してまいります。本市のグランドデザインである第5次総合計画が来年度よりスタートいたしますが、新型コロナウイルス感染症対策・老朽化した公共施設の個別施設計画等の差し迫った課題も累積いたしております。本市発展の為、八千代版SDGs(だれ一人取り残さず、幸せに生活できる八千代市)を目指し、会派メンバーと共に課題解決に取り組んで参ります。



**花島 美記** 福祉常任委員会 副委員長 / 広報委員会 副委員長

みなさん、こんにちは。日頃より私の議員活動に対するご理解とご支援に心から感謝を申し上げます。長引くコロナ禍で、あたりまえの日常は新しい生活様式に変化を遂げました。未だ戸惑いや不安を拭き去ることはできませんが、この新たな変化が、少しでも我々の生活を良い方向に軌道修正する機会となることを望みます。さて、私はこの度、福祉常任委員会の副委員長を務めることになりました。市民の皆さんの福祉への関心は、これまで以上に高まりを見せています。高齢の両親は日々身を持って、住み慣れた場所で暮らしていくことの大切さを私に教えてくれます。サービスを必要とする人に必要なサービスが行き届くよう、行政はニーズを把握し調整する役割があります。常任委員の皆さんと共に福祉行政の審査と推進に取り組んで参ります。そして、魅力と活気に溢れ、誰もが健やかに、いつまでも住み続けられる八千代市となるよう、令和3年度も全力で働く所存です。

# 八千代市の新型コロナウイルスワクチン接種体制について

新型コロナウイルスワクチンは、主に重症化の予防が期待されています。市では、4月より65歳以上の人から順次、ワクチン接種を受けられるよう、八千代市医師会、八千代市薬剤師会や東京女子医科大学八千代医療センターなど、関係団体と連携しながら準備を進めています。



ワクチン接種は **無料** です (自己負担ナシ)

「費用を負担すれば優先的に接種できる」などと費用負担を求めるものは**詐欺の可能性**があります。不審な電話がかかってきたり、メールが送られてきた場合は、警察や市のコールセンター（下記）へ連絡してください。



ワクチン接種は「**予約制**」です。

ワクチンは予約がないと接種が受けられません。65歳以上の人に向けたワクチン接種の予約は、3月下旬以降に開始の予定です。予約は市のコールセンター（通話有料）または市のホームページで受け付けます。電話での問い合わせが殺到することが予想されますので、できるだけ市のホームページからの予約にご協力をお願いします。

接種回数「**2回**」です。

ワクチンは2回接種です。現在承認されているファイザー社のワクチンは、18日以上以上の接種間隔において、標準的には3週間後に2回目の接種を受けていただきます。今後は、ファイザー社以外のワクチンが複数種類用意される予定です。

Q. 接種を受けられないのはどのような人か？

A. 一般に、以下の人は、ワクチンを受けることができません。ご自身が当てはまると思われる人は、ワクチンを受けてもよいか、かかりつけ医にご相談ください。

- ・明らかに発熱している人
- ・重い急性疾患にかかっている人
- ・ワクチンの成分に対しアナフィラキシーショックなど重度の過敏症の既往歴がある人

Q. 接種は必ず受けないといけないのか？

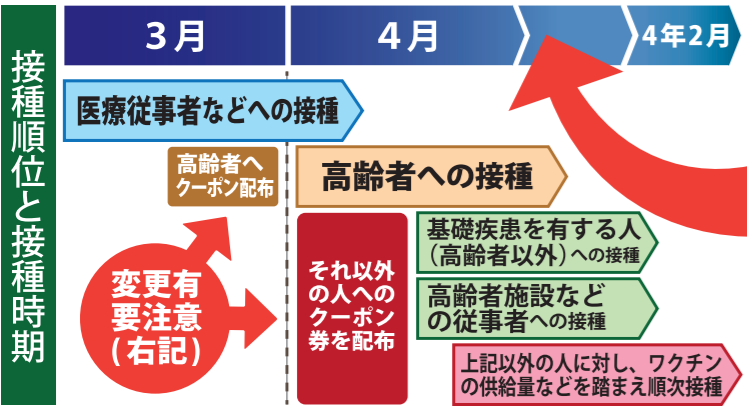
A. ワクチンの接種は個人の判断による任意接種です。妊娠中の人や持病をお持ちの人など、接種してよいかは必ず、かかりつけの医師にご相談ください。

Q. 接種当日の持ち物は？

A. 送付された「クーポン券」と本人確認書類（運転免許証、被保険者証など）の2点を必ずご持参ください。

Q. 薬の副反応が心配だ

A. ワクチン接種後は、副反応が出ないか確かめるため、接種会場で15分～30分程度待機していただきます。過去に予防接種などでアレルギー反応が出たことがある人は、予防接種などで必ずお知らせください。過去に、アナフィラキシーなど重篤なアレルギー反応が出たことがある人は、不測の事態に備え、医療機関での接種をおすすめします。



1. 令和3年4月としていた接種開始時期については4月26日以降のワクチン供給量が明確になるまで集団接種、個別接種ともに延期します。
2. 令和3年3月下旬以降としていた高齢者の接種券発送については、当面見合わせ、接種開始時期に合わせて発送します。なお、ワクチン配分量等の情報は、未確定な部分もあるため、市ホームページ等には掲載しておりません。また、国の指示やワクチンの供給状況により、スケジュールが再度変更になることがあります。

市民クラブが **推進** してること

Pay Pay 決済割引

再支援 要望!!

GIGAスクール構想

1人1台タブレット端末 ICT教育環境の整備 令和3年9月より配布開始

(仮) 児童発達支援センター・すてっぷ21大和田 複合施設整備計画

八千代市児童発達支援センター及びすてっぷ21大和田は施設老朽化と利用者の増加による狭域化が進んでいます。建設予定地近隣の住民の方へのアンケート調査でも、建設用地内に長期間放置されている旧千葉県教職員住宅に関して衛生面や防災面から早期の解体工事を望む声が多くありました。旧県教職員住宅は建物も古く、現在無人の状態に放置されている現状からも、計画に沿った事業の推進を図る必要があります。

新川周辺エリア にぎわい創出活動

市民クラブでは印旛沼流域かわまちづくり計画の推進のため、日々勉強中。サイクリングやマラソンは勿論、サップやカヌー、ボートなどが利用できるよう一体的な水辺の創出を目指しています。



温浴施設



令和4年着工

空き家対策協議会の発足・空き家等対策計画の策定

将来増加が予想される空き家に対して、空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための計画として、八千代市空き家等対策計画の策定を要請。今後は、空き家の解消の促進（空き家バンクの設置）や人口の流入に繋がるような施策との連携（三世帯同居・近居・隣居制度の創設）、空き家を含めた土地の流通促進を図ること（空き家等対策総合実施計画策定）を要望して参ります。



保品近隣公園グラウンド 4月1日から使用開始

保品近隣公園グラウンドでは野球、サッカーが出来るグラウンドが開設されます。また、バスケットゴールも設置されます。八千代市とデベロッパーの協議により市の負担はゼロ！令和3年4月1日から使用開始。



防災道の駅やちよを推進します

全国の道の駅は、いまや防災拠点としての設備を備えるように。また国では広域防災拠点の選定に向け内容が発表されたところです。広域防災拠点に選定された場合、国の直轄事業となる為、補助率は10/10



お問い合わせは市コールセンター (平日8:30-17:15) **TEL 0570-001-098**

投票に行こう!! **5/23 (日)は 八千代市長選挙の日**